



刊夕日三廿月四

寄書
平町の發展策(三) 吸山
 商工會は先年當町に生れたる事が、當時の新聞に見えたと覺えますが、其の後の消息は審かにいたしません。が、どうしたのでありませう、商工會が餘りに經費も要せず、而も活動を持続して行かんとするには、年中には該會員中遠近各地へ商用的の爲めに出張又は旅行なさるゝ者が必ずありませうから、其の都度序を以て各會員に於て夫々の視察を遂げらるゝ事とし、年に何回か定期又は臨時開會を爲

して、其の視察談、報告談批評談等を公開の上に開催し、以て研究ともなり、講習の手引きともなるの仕組にして、從來の如く取調べ向も利己の爲めにのみ秘する事を爲さず、土産物等も家内親戚間だけでなく、物によりては該會へも標本又は研究材として少々つゝも寄附になる様にもならば結構にて、斯くして町の爲め地方の爲め共榮的、共榮的又開放的精神を以て事に當る様の氣分になりてこそ、着々進歩の道を辿る事が出来て、町の發展を促進するに足らうかと、思はれますのであります、至つて卑見

一册の代金で御希望通りな五册の雑誌が自由の讀める川崎回文庫 (申込次第規則書進呈)

平白銀町 田邊教機店 電話二七六番

家庭教育玩具 新案特許出願 附設第一七七八番



各學校幼稚園實地應用の結果賞賛を博し感謝狀を賜はる

小供用十五圓 教授用一圓
 友仙モス一尺 十二錢で廉賣
 春衣...の大賣出し
 平・土橋 塩屋吳服店 電話二二番

常磐文藝

◇春を惱む

希 苦 男

微突む花の肌かほり 岡に陽炎たちのびて 小鳥は唄ふ春の歌ものゝ心も青々と 惱みは何處ぞ若草や 神の慈みをあたゝかに 受けにし人は幸なれや 身は春の野に立ちゐても 嵐断えせぬ吾が心 もゆる若芽に胸わきて 思ひ見つむるはるか空 今日もひねもす岡の上に 口笛吹けどわがうれひ 更につのるを如何にせむ 人は踊りぬ花のもと 流るる面生の喜よ ひとり、慈風にもれぬけて 喘ぐは悲しわれのみか あゝわが心かくなちも 知らずや花は微笑みて 小鳥は唄ふ春の歌

歯科平町 森重歯科医院

花見のお歸りには—

長橋町の... まつやへ

文明人の子供は最も文明の玩具を喜ぶ

常磐日新新聞 讀者優待



此券切り取り持参の方(御一名一枚限り)に森水コ、ア一杯差上げます但し廿三日から廿六日迄 松ヶ岡公園池の畔 森永コ、アホール (四丁目マツモトヤ)

平町會議員 候補者 阿部唯次郎君 右最適任者ト認メ推薦シ協力一致其當選ヲ期ス 四丁目一同

囑望されつゝある

候補者中の新人物

阿部氏と佐々木氏

町議壇上一服の清涼劑

平町に於て既に運動を開始して居る候補者中少壯有爲の材を以つて目されつゝある人物が二名ある、夫れは搔搔小路の

公認候補

阿部政右

衛門氏と鐵道以北の佐々木龍若氏とである、阿部氏は九通運送店主として磐陽實業界に小氣味よき雄飛を試み大瀧發電所問題の勃發と共に自からは小田炭礦の重役でありながら同計劃の平町水道に及ぼす悪影響を痛憤して断然利権派反對の立場に立ち健闘たゆまなかつた結果として各方面から其

高傑の士

である事

を認識され今回周圍から盛んに薦められて立候補を宣するに至つたのであるが同氏は繁忙な業務に身を終始する傍ら頗るスポーツの趣味を解し餘暇ある毎にラケットを振り廻して居る、又佐々木氏は中央大學の出身氏の嚴父は以前平區裁判所

判事ごし て當時の衆望を一身にをさめた人である、此父にして此子たり得る資格を具備した佐々木氏は磐城銀行の公金課長として穩厚實直の人物であるが一面熱血慨世の士であつて發電所反對の急先鋒として路傍演説に際しては町民の

判事ごし

て當時の衆望を一身にをさめた人である、此父にして此子たり得る資格を具備した佐々木氏は磐城銀行の公金課長として穩厚實直の人物であるが一面熱血慨世の士であつて發電所反對の急先鋒として路傍演説に際しては町民の

模範火防隊

公共事業盡力

石城郡赤井村大字高萩(小川郷前部)にては火防組合を設置し卅六名の青年を選抜して小川郷火防隊を組織し専ら火防事業に盡力する傍ら道路の改修に努めまた電燈會社と電氣料の集金を特約し其爲めに受くる



洋服の疊み方

洋服のたゝみ方を十分心得て居ないと減多に着ない着物を、スートの中に仕舞つ

縦覧期間の前に

選挙名簿を印刷し

各方面に賣り歩く

去る廿日から平町役場では町會議員選舉人名簿を一般人に縦覧せしめて居るがその縦覧期間後に某新聞社が是れを讀者に配布する爲め名簿を借りて寫し取らんとしたるに他の縦覧人の妨害となるの故を以つて許可されず、それでは夜分でもよいと申し込んだが拒絶された、然るに吏員某は二三の者と圖り縦覧期間以前に忍かに寫し取つて騰寫刷りと爲し各方面に密賣した事が發覺し重大視されて居る

一杯召上れ

本紙の讀者に

四丁目マツモト菓子店の出張である松ヶ岡公園池の端森永コ、アホールは本紙の讀者に限りコ、アを響應する由

野崎満藏

喚問さる

長時間の取調 大瀧發電所問題で町民から憎しみの焦點となつた野崎

て置く場合後で出した時、到底着られませんが、洋服の上着は袖のついて居る夜着のやうにたゝみます、まづ両方ともポケットの所まできちんとたゝみ、一番大切な肩の線をくゞさぬ爲めにハンケチか新聞紙をまるめて肩に入れて、つぶさぬやうにします、それから袖は

農事共同 組合を奨励

組織的な事業

石城郡農會では將來農業經營上共同作業をなすことの必要を認め郡下各町村部落に農事共同組合の設置を奨励しこの程それを通牒を發したが之れにつき野村技師は語る『農業經營によらず總ての事業に於てもさうであるが文化の向上と共に人手はあつても無いやうなもの唯今農村に於ける農繁期に手不足を來してゐることは事實で即ち農村振興の意味から言つても組織的に且つ組織的な共同事業

たる組合の設置を奨励する所以である』 石城郡組合視察 石川郡内産業役員矢吹源三郎氏外四名は同郡駐在佐藤農林主事補の案内にて廿二日午前九時から石城郡大浦村信用組合及び四倉信用組合を視察した

漁夫の優遇

太氏の俠氣

石城郡江名濱漁業家太清左衛門氏は今回遠洋漁業奨励規定による三十七噸の漁船を建造する事は既報の如くであるが同氏は最近自覺せ

る漁夫を優遇すると共に漁業上の勞資協調を圖り範を垂れんとし乗組員に對しては若干宛の船株を持たしめて總て漁獲物は共同販賣所にて最も公平にその價格を決定し歩合の如きも漁夫中より委員を舉げ立會はしむることとするが乗組員を株主とせる此經營法は本縣での嚆矢である

耳の鬼 少女の鼻から柿の木 千葉縣香取郡 豊和村大字大寺佐藤いゝ(八)は數日前から鼻のあなから木の芽が生え出したので大騒ぎとなり附近の醫師の治療を受

平町人事

出生

- △四丁目二五 鈴木半次郎氏五男勇
- △北目町九 永野菊彌氏二女信子
- △七町町三九 田巻源三氏三男英三

婚姻

- △長橋町四一 雜貨商渡部松次郎氏
- (二五)岩瀬郡白方村今村ヒロノ

吞氣な泥的

盗んだ自轉車を押して行く

平町長橋町島崎初午(三)は廿一日午後二時頃植田町山田屋旅館前に立て掛てあつた石城郡錦村山口俊吉所有百廿圓の自轉車を盗んだが乗り方を知らない爲め勿來方面に押し行く處を植田署の巡查に捕はれ昨日檢事局に押送さる

不平受付

投書歓迎

博覽會に便所 私は先日博覽會見物に参りましたが博覽會を見物に便所が用便を爲すのに便所が見當らないので困りました、一般に困る事であらうと思ひますから早速便所を設けて下さい (便近生)

伊藤會長の答 設けてあるのですが見付ける事が出来なかつたのでせうから人眼に付きますやう張り紙を出します

期待せる名畫公開

劇活笑涙

劇笑代現轉逆の勝お 前 け 明 夜 力努の郎太府見勝よ見 演助郎太宗田岡・子合百英

死の渦巻 全卷

安藤精之助の死 全卷

學窓ロマンス

白菊の唄 全卷

其他實寫四月二十四日 平館 四六